

# デザインコンセプト

診療室の前面に天井から床までの明るく開放的な大きな窓を設けました。窓の外は当院の駐車場ですので、外からの視線を気にすることなく、日中は窓を開けておくことができます。

天井の照明は、治療中に天井を見上げてまぶしくないように、おだやかな光の埋め込み型にしました。

各診療室をつなぐ通路は、カウンセリング室のドアをあければ、受付まで見通せます。ここは、スタッフの動線となっており、患者さんとスタッフの動線分離をはかっています。

廊下は「光に向かって歩く」というコンセプトで作りました。診療室に入る時、また、診療室から出る時、患者さんは光がさす窓に向かって歩きます。治療の前後に少しでもリラックスしていただくための工夫です。

廊下の幅は、140cmですので、車椅子でも容易に通ることができます。廊下と診療室とは、当院のイメージカラーのブルーの壁で区切られており、この壁の診療室側はスタッフが通ることができ、廊下を通る患者さんの動線とは分離されています。

廊下の壁には、入り口から順に、イルカ、ヨット、魚、クジラ、飛行機の間接照明を設置しています。この木製のセードはフランスの小さな村の職人さん達が一点一点加工したもので、(有)オフィチーノ社製です。

## トイレ

患者さん用のトイレは待合室の奥にあります。海をイメージしたブルーの壁のトイレです。段差のないバリアフリーのトイレですので、車椅子のまま入ることができます。ドアは天井吊りですので、床にはレールがありません。トイレ内の照明は、人が入るとセンサーが感知し、自動で点灯します。トイレは自動水栓ですので、便座から立ち上がると水が流れます。トイレの中には、自動水栓の手洗い、手すり、ベビーシート(おむつ替えシート)、ベビーキープ(小さなお子様を座らせておく場所)、さらに緊急時のコールボタンを設置しました。

## 洗面台

待合室の奥、トイレの手前に洗面台があります。当院の洗面台は車椅子対応です。足元にはお子様用の踏み台も用意いたしました。この水栓は、蛇口に手を触れる必要がない自動水栓です。歯をみがきたい方は、どうぞ備えつけの歯ブラシをお使いください。

## 駐車場の看板

看板を支える2本の柱は赤と青、文字の背景は白です。この組み合わせは、赤＝動脈、青＝静脈、白＝包帯(もしくは神経)を意味する外科の色です。歯科や外科の起源は、中世ヨーロッパの床屋(床屋外科医Barber surgeon)にあり、この3色を組み合わせた看板は床屋さんにも使われます。

## マリンランプ

医院外壁の照明に、船舶に使われる本物の(株)松本船舶電機製作所の真鍮製マリンランプを使っています。駐車場の照明にもマリンランプ型の照明を使っています。

## 受付

受付カウンターは(株)アーネストクラフト社製の特注のハイ・ロー・カウンターです。一つのカウンターで、立って会話ができるハイカウンター(高さ100cm)と、車椅子のまま座って会話ができるローカウンター(高さ70cm)の2つの機能を有しております。受付カウンター前面には、歯ブラシなどの販売品を収納できるガラスキャビネットを設けました。カルテ庫は受付奥の患者さんから見えない場所に設置しました。受付後方のブルーの壁には、訪れた人を迎える大きなエンブレムをかかげました。

## X線室

X線室は、1.5m/m鉛当量のX線防護仕様です。X線室のドアはアルミ製ですが、他の建具と違和感のないように特注で木目仕上げにしました。壁には、落ち着いた花柄の壁紙、リリカラLY-6241(Made in England)を用いています。この壁紙は手作りのような温かみがあるシルクスクリーン印刷です。天井の照明は、やわらかな光が部屋の隅々まで届くように、3つのスポットライトを配置しました。

X線装置は、モリタ製のデジタルパノラマX線装置、ベラビュー エポックス3DCTを導入しました。デンタルX線は、同じくモリタ製のイメージング・プレート(IP)方式のディゴラ オプティメを導入しました。このIPは、従来のデンタルX線のフィルムとほぼ同じ大きさと厚みのため、位置づけが従来と同様、操作は簡単であり、画像は非常に鮮明です。パノラマX線・デンタルX線ともにデジタルですので、被曝X線量がフィルムのおよそ1/10と少なく済むため、妊婦さんや小さなお子様にも安心です。もちろん、必要最小限のX線撮影に心がけております。

「光に向かって歩く」というコンセプトで廊下を作りました。診療室に入る時、また、診療室から出る時、患者さんは光がさす窓に向かって歩きます。治療の前後に少しでもリラックスしていただくための工夫です。

廊下の幅は、140cmですので、車椅子でも容易に通ることができます。廊下と診療室とは、当院のイメージカラーのブルーの壁で区切られており、この壁の診療室側はスタッフが通ることができ、廊下を通る患者さんの動線とは分離されています。

廊下の壁には、入り口から順に、イルカ、ヨット、魚、クジラ、飛行機の間接照明を設置しています。この木製のセードはフランスの小さな村の職人さん達が一点一点加工したもので、(有)オフィチーノ社製です。

## 待合室キッズコーナーと診療室キッズルーム

小さなお子様は、診療室に入っただけで泣いてしまうことがあります。当院では、診療室の雰囲気や音に慣れていただくため、待合室にキッズコーナーと、診療室内にもキッズルームを設けました。ここにはたくさんの絵本やおモチャがあり、時間をかけて徐々に慣れていただくことができます

## 位相差顕微鏡

この部屋には、お口のバイ菌をすぐに画面に映しだすことができる位相差顕微鏡を設置しました。メイジテクノのフェーズスコープ “SK-3”です。とてもコンパクトでインテリアにも溶け込みますので、顕微鏡に見えないと思います。

新設計の対物レンズ BFプランアクロマートを採用し、通常のアクロマートレンズより高品質で、テレビ画面での像の平坦度と解像力が優れています。

操作は簡単で、採取した歯垢をスライドガラスにのせてカバーガラスで覆い、顕微鏡に差し込むだけです。

当院では歯ぐきに炎症のある方や磨き残しのある方などに顕微鏡検査を行っております。14インチモニターの場合、拡大率は3566倍ですので、歯周病菌などの生きているバイ菌が動いている様子が鮮明にわかります。

歯ぐきが心配な方、顕微鏡検査をご希望の方、お気軽におっしゃってください。

## 医療設備

### (1)口腔外吸引

ムシ歯の治療をする際、また超音波スケーラーで歯石除去の際、どうしても目に見えない霧が出ます。これが室内の空気を汚染しますので、口腔外吸引で霧を吸います。音はゴーとうるさいのですが、清潔な診療室を維持するため、ご理解ください。

タービンやエンジンと連動するため、スイッチ操作が不要であり、スイッチが唾液や血液で汚染されにくくなっています。

### (2)136万画素の口腔内カメラ

RF社製ワイヤレスの口腔内カメラ「アインシュタイン」で、治療前後の状態を撮影し、すぐにユニットの液晶画面で説明します。136万画素ですので、奥歯の裏側までとても鮮明に撮影することができます。

### (3)5倍速コントラ

歯を削る甲高いキーンという歯科医院のあの音。あの音を想像するだけで、歯の治療に行きたくなくなる人も多いと思います。あれはタービンから発生する音です。

当院では、タービンのほかにキーンという音がしない切削器具、5倍速コントラを導入しました。5倍速コントラはタービンと同じバーを使いますが、タービンと違うのは、圧縮空気を歯に吹き付けないため、歯髄への刺激が少ないとされています。

5倍速コントラはお子様の治療や金属を削るなどの治療内容によって使いますが、ご希望の患者さんには、5倍速コントラを使いますので、おっしゃってください。

### (4)電子カルテシステム

メディア製電子カルテシステムと画像管理システムであるビジュアルマックスを各ユニットに導入しました。タッチペン方式で、あたかもサインペンのように画面上に書き込むことができます。口腔内カメラの画像、X線写真の画像、説明用資料の画像、すべてデジタルであり、拡大・縮小・反転などの加工と、カラー印刷が自由自在です。お子様はこの液晶画面で、ゲームや塗り絵で遊ぶこともできます。また、当院オリジナルの説明用資料数百点を用意しておりますので、必要に応じて瞬時に呼び出して説明し、その場で印刷してお渡しします。